

平成29年11月17日

広島信用金庫

## 平成29年度 上半期業績 について

広島信用金庫（理事長 武田龍雄）の平成29年度上半期業績につきまして、下記のとおり、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成29年度 上半期業績概要

##### (1) 業容について

預 金	1,357,600百万円	（前期比 21,209百万円増 1.5%増）
貸 出 金	922,670百万円	（前期比 17,894百万円増 1.9%増）

預金は、内容の充実を第一に、地域に密着した営業活動を推進してまいりました結果、29年3月末比 212億円増加し、1兆3,576億円となりました。

貸出金は、地域の皆様の資金ニーズに積極的にお応えしてまいりました結果、29年3月末比 178億円増加し、9,226億円となりました。

##### (2) 利益について

経 常 収 益	11,355百万円	（前年同期比 82百万円減 0.7%減）
実質業務純益	2,259百万円	（前年同期比 179百万円減 7.3%減）
コア業務純益	2,211百万円	（前年同期比 225百万円減 9.2%減）
経 常 利 益	2,224百万円	（前年同期比 429百万円減 16.1%減）
当 期 純 利 益	1,731百万円	（前年同期比 626百万円減 26.5%減）

貸出金、余裕金等の運用利回りの低下を主要因に、コア業務純益は、前年同期比2億25百万円減益の22億11百万円、経常利益は、前年同期比4億29百万円減益の22億24百万円となりました。

ここから特別損益、法人税等を差し引いた最終利益である当期純利益は、前年同期比6億26百万円減益の、17億31百万円となりました。

(3) 不良債権の処理状況について

事業再生支援への取組みにより、29年度上半期における不良債権処理額は、3億55百万円の戻入（前年同期比5億50百万円減）となりました。

(4) 金融再生法による開示債権について

(金額単位：百万円)

	開示額 ①	担保・保証等 ②	貸倒引当金 ③	保全率 (②+③) / ①
破産更生債権等	2,241	787	1,454	100.0%
危険債権	22,017	12,689	5,728	83.6%
要管理債権	877	319	85	46.1%
小計	25,136	13,796	7,267	83.8%
正常債権	901,851			
合計	926,988			

金融再生法上の不良債権額は、251億36百万円（29年3月末比7億36百万円減、2.8%減）、不良債権比率は、29年3月末比0.13ポイント改善の2.71%となりました。なお、不良債権額のうち83.8%は、担保・保証および貸倒引当金により保全がはかられております。

(5) 自己資本比率（国内基準）について

自己資本総額	95,457百万円
コア資本に係る基礎項目	96,788百万円
コア資本に係る調整項目	1,330百万円
リスクアセット	782,114百万円
自己資本比率	12.20%

自己資本比率は、29年3月末比0.28ポイント上昇し12.20%となり、国内基準の4.0%を大きく上回っております。

(6) 平成29年度決算予想（平成30年3月期予想）

- ・経常利益 40億円程度
- ・当期純利益 30億円程度
- ・自己資本比率 12%台
- ・不良債権比率 2%台

[お問い合わせ先] 経営企画部 広報室 TEL 082(245)0030